

古来御殿では上段の間
控の間の障壁に描いて
は狩野派・阿山派等・
最高の画家によって全
面にわたる人物画及び
花鳥風月等が描かれて
いたものであります。
今般ヒガシマル醤油株
式会社の寄贈により、
これら障壁画に匹敵す
る「金泥引・金砂子打
し」がてきあかりまし
た。脇坂老中時代なら
びに、
寺社奉行当時の豪華さ
を再現しているもので
あります。



龍煌々志

本丸御殿の襖絵「龍煌々志」は、たつの市出身の龍画家出口龍憲氏より昭和五十九年に寄贈されたものです。

貴氏は昭和五十九年フランスニースフェスティバル美術展の金賞受賞をかわきりに数々の国際的な美術展で入賞されています。



















一暮一令

雙燕







寛仁居士





消防火器



信楽焼

茶壺

信楽壺中窯

樂入作

この壺は信楽焼現代作家
保庭樂入、人より龍野城に
寄贈していただいたものやうです